

1 令和7年度 宜野湾小学校の取り組み(指定研究実践報告書)

① 研究主題

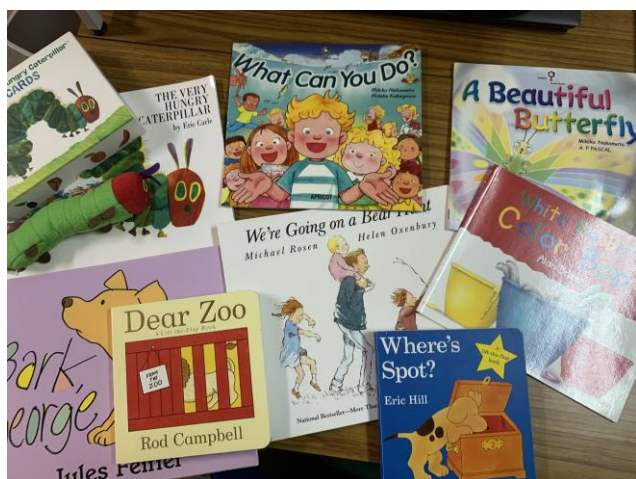
他者に配慮しながら、自分の思いや考えを適切に表現することができる児童の育成

② 研究主題の設定利用

外国語科・外国語活動ともに学習指導要領で求められているのは、コミュニケーションの素地と基礎である。身近な友達とのコミュニケーションを大切に、お互いに尊重しながら、お互いのことを伝え合い理解し合うことが大切だと考え研究主題を設定した。また、めざす授業像として「言語を『捉え(気づく・学び取る)』させ、目的・場面・状況に応じて思考・判断し、言語活動を通して自分の思いや考えを表現する豊かなコミュニケーションが多い授業」としている。授業実践を通して、ALTとの協働により楽しい外国語科・外国語活動を展開していきたいと思う。

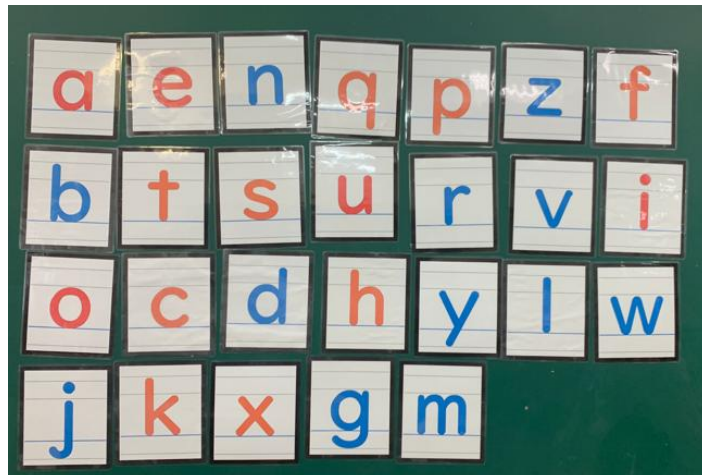
③ 研究の主な内容

低学年・・・言葉の広がりを通して身近な言葉に慣れ親しむ



生活科などで学習する単元と時期を合わせて、「あいさつ・自己紹介」「気持ち」「色(朝顔遊び)」「形・数(運動会の玉入れ)」「動物(社会見学:動物園)」「くだもの(秋の食べ物)」「十二支・動物(お正月)」「顔の部分(福笑い)」「スポーツ」などのトピックを絵本・音楽・チャンツ・言語活動に近いアクティビティを活用しながら、慣れ親しませる。

中学年・・・Let's Try1・2 言葉と表現を広げコミュニケーションの素地を育てる



◎あいさつを GreetingChat とし、HRT と ALT の SmallTalk にはじまり、T-T、T-S、

S(全体)—S(個人)、S(個人)—S(個人)とスモールステップで会話を楽しむ時間とした。

(Q&A からの脱却・相手意識を持たせる工夫・コミュニケーションの素地を育てる工夫)

◎Lesson6 以降は帯活動として、アルファベットに慣れ親しませた。バラバラ Song や言葉探し、アルファベット並べなどを通して、アルファベットの形と名称読みを身に着けた。

※アルファベット:3 年生は大文字 4 年生は大文字と小文字



◎毎時間 捉えた言葉や表現を活用して、縦ペア・横ペア・斜めペア・自由ペアで相手を変えて、何度もやり取りすることで、相手意識と漆塗りによる言葉や表現が広がり、コミュニケーションの素地を育てる工夫をした。

高学年:Junior Sunshine 言葉と表現を広げ、コミュニケーションの基礎を育てる

方策：単元計画案

縦一時間の授業の流れ
横一単元計画
ゴールを達成した
スモールステップ

□Greeting Chat/Small Talk
帯活動
○単元のゴールを覚える
○言葉や表現を覚える
○個別最適化・協働学習
ひとり・友達・先生と
何回か聞く・友達と話合う
○中間評価を取り入れた
言語活動

単元計画	単元計画	単元計画	単元計画
1. Greeting Chat	2. Greeting Chat	3. Greeting Chat	4. Greeting Chat
5. Greeting Chat	6. Greeting Chat	7. Greeting Chat	8. Greeting Chat
9. Greeting Chat	10. Greeting Chat	11. Greeting Chat	12. Greeting Chat
13. Greeting Chat	14. Greeting Chat	15. Greeting Chat	16. Greeting Chat
17. Greeting Chat	18. Greeting Chat	19. Greeting Chat	20. Greeting Chat
21. Greeting Chat	22. Greeting Chat	23. Greeting Chat	24. Greeting Chat
25. Greeting Chat	26. Greeting Chat	27. Greeting Chat	28. Greeting Chat
29. Greeting Chat	30. Greeting Chat	31. Greeting Chat	32. Greeting Chat
33. Greeting Chat	34. Greeting Chat	35. Greeting Chat	36. Greeting Chat
37. Greeting Chat	38. Greeting Chat	39. Greeting Chat	40. Greeting Chat
41. Greeting Chat	42. Greeting Chat	43. Greeting Chat	44. Greeting Chat
45. Greeting Chat	46. Greeting Chat	47. Greeting Chat	48. Greeting Chat
49. Greeting Chat	50. Greeting Chat	51. Greeting Chat	52. Greeting Chat
53. Greeting Chat	54. Greeting Chat	55. Greeting Chat	56. Greeting Chat
57. Greeting Chat	58. Greeting Chat	59. Greeting Chat	60. Greeting Chat
61. Greeting Chat	62. Greeting Chat	63. Greeting Chat	64. Greeting Chat
65. Greeting Chat	66. Greeting Chat	67. Greeting Chat	68. Greeting Chat
69. Greeting Chat	70. Greeting Chat	71. Greeting Chat	72. Greeting Chat
73. Greeting Chat	74. Greeting Chat	75. Greeting Chat	76. Greeting Chat
77. Greeting Chat	78. Greeting Chat	79. Greeting Chat	80. Greeting Chat
81. Greeting Chat	82. Greeting Chat	83. Greeting Chat	84. Greeting Chat
85. Greeting Chat	86. Greeting Chat	87. Greeting Chat	88. Greeting Chat
89. Greeting Chat	90. Greeting Chat	91. Greeting Chat	92. Greeting Chat
93. Greeting Chat	94. Greeting Chat	95. Greeting Chat	96. Greeting Chat
97. Greeting Chat	98. Greeting Chat	99. Greeting Chat	100. Greeting Chat

方策：単元計画案

□評価場面
(記録に残し評価)
・ルーブリックの確認

□Greeting Chat
Small Talk
Sound&Letter
帯活動

○単元のゴールを覚える
○個別最適化・協働学習
ひとり・友達・先生と
何回か聞く・友達と話合う
○中間評価を取り入れた
言語活動

単元計画	単元計画	単元計画	単元計画
1. Greeting Chat	2. Greeting Chat	3. Greeting Chat	4. Greeting Chat
5. Greeting Chat	6. Greeting Chat	7. Greeting Chat	8. Greeting Chat
9. Greeting Chat	10. Greeting Chat	11. Greeting Chat	12. Greeting Chat
13. Greeting Chat	14. Greeting Chat	15. Greeting Chat	16. Greeting Chat
17. Greeting Chat	18. Greeting Chat	19. Greeting Chat	20. Greeting Chat
21. Greeting Chat	22. Greeting Chat	23. Greeting Chat	24. Greeting Chat
25. Greeting Chat	26. Greeting Chat	27. Greeting Chat	28. Greeting Chat
29. Greeting Chat	30. Greeting Chat	31. Greeting Chat	32. Greeting Chat
33. Greeting Chat	34. Greeting Chat	35. Greeting Chat	36. Greeting Chat
37. Greeting Chat	38. Greeting Chat	39. Greeting Chat	40. Greeting Chat
41. Greeting Chat	42. Greeting Chat	43. Greeting Chat	44. Greeting Chat
45. Greeting Chat	46. Greeting Chat	47. Greeting Chat	48. Greeting Chat
49. Greeting Chat	50. Greeting Chat	51. Greeting Chat	52. Greeting Chat
53. Greeting Chat	54. Greeting Chat	55. Greeting Chat	56. Greeting Chat
57. Greeting Chat	58. Greeting Chat	59. Greeting Chat	60. Greeting Chat
61. Greeting Chat	62. Greeting Chat	63. Greeting Chat	64. Greeting Chat
65. Greeting Chat	66. Greeting Chat	67. Greeting Chat	68. Greeting Chat
69. Greeting Chat	70. Greeting Chat	71. Greeting Chat	72. Greeting Chat
73. Greeting Chat	74. Greeting Chat	75. Greeting Chat	76. Greeting Chat
77. Greeting Chat	78. Greeting Chat	79. Greeting Chat	80. Greeting Chat
81. Greeting Chat	82. Greeting Chat	83. Greeting Chat	84. Greeting Chat
85. Greeting Chat	86. Greeting Chat	87. Greeting Chat	88. Greeting Chat
89. Greeting Chat	90. Greeting Chat	91. Greeting Chat	92. Greeting Chat
93. Greeting Chat	94. Greeting Chat	95. Greeting Chat	96. Greeting Chat
97. Greeting Chat	98. Greeting Chat	99. Greeting Chat	100. Greeting Chat

- ・単元計画案
- ・単元ゴール明示
- ・導入の工夫
- ・個別最適学習
- ひとり・友達・先生と
- ・協働学習
- ・中間評価 言語活動

授業の実 プレゼン



授業の実 ゴール



◎相手意識・Live 感・本物を大切にしたいポスターセッション型やり取り・・・先生方を招いて

リアクションレベル

対話の継続 研修ガイドブックP84

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello./How are you?/I'm good. How are you? など
繰り返す	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること 相手: I went to Tokyo. 自分: You went to Tokyo. など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること That's good./That's nice./Really?/That sounds good. など
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発言を促すこと Pardon?/Once more, please. など
さらに質問	相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること 相手: I like fruits. 自分: What fruits do you like? など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you./You, too. など

(図表 1) 対話を続けるための基本的な表現例



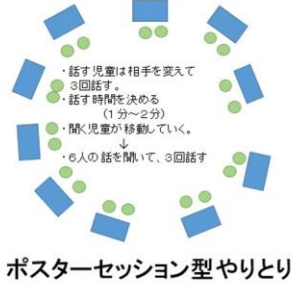
◎リアクションを工夫し、
相手意識・聞くこと・を重視した
コミュニケーションの基礎を育てる工夫
L1: 繰り返して受け止める 「Oh Dog!」
L2: 一言で添える 「me too」 「Nice」
L3: 関連する質問をして会話を広げる
「Do you like cats?」 など

評価



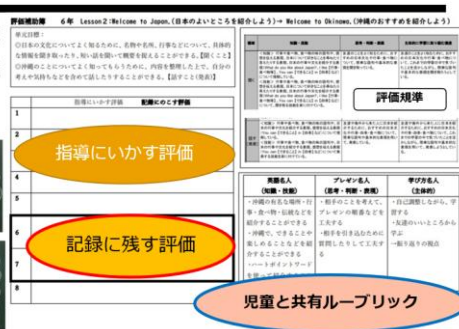
聞くこと・話すこと (発表)

指導と評価の実際



ポスターセッション型やりとり

評価の工夫 評価補助簿



◎評価の工夫 話すこと(発表)はグループ発表にすることで時短と見取りができるように
話すこと(やりとり)はポスターセッション型にすることで複数回相手を変えて
やり取りでき、見取りができるように
聞くこと もリアクションやワークシート・振り返りから評価する

◎評価補助簿の活用とループリックを児童と共有することで、明確でぶれない評価ができる
児童と共有ループリックでは【知識・技能】を英語名人 【思考・判断・表現】をプレゼン
名人・話し方名人・聞き方名人 【主体的】を学び方名人・自己調整名人とした



◎宜野湾中学校と小
中連携授業を行った。
今年度の課題を生か
して、来年度はさら
によい連携が取れる
ようにしたい。

④ 研究の成果と課題

◎成果

- ALT とのミーティングを確実に持って臨むことができた。
- 学校の外国語活動の型があることで、継続的な指導が可能である。
- 英語をたくさん話すようなアクティビティーを取り入れたことで、一人ひとりが自分事として英語を捉え、自分の言葉で話す機会になり、理解につながった。
- 児童が意欲的に楽しく学習に参加していた。
- 英語で話し聞きコミュニケーションを楽しむことで英語が好きな児童が増えた。
- 英語の言葉や表現が広がっている。自分の気持ちや考えを伝えられる児童が増えた。
- 児童が相手意識を持って活動に取り組み、先生方や外部からのゲストティーチャーとも英語で交流することができた。
- ALT の先生のネイティブな英語で学習することができてよかった。
- ALT の先生が児童の個別最適学習の相手になってくれたり、練習や質問につきあってくれてよかった。一緒に教材や授業の準備も進めてくれたので助かった。

●課題

- △担任主導か ALT 主導なのか悩むところがあった。担任の T1 としての意識向上
- △ALT との打ち合わせの回数を統一してほしい。

打ち合わせは、単元に 1 回にし、見通しをもって授業に臨みたい。

△学年の実態に合った単語の精選

→解決策①担任主導で授業ができるよう、ALT の理解と校内研修を充実させる。

②単元計画案を活用し、単元に 1 回の打ち合わせをする(年度はじめ確認)

③ALT にはできるだけ、児童の実態・教材内容を把握してもらい聞きやすい英語をつかい、児童とのコミュニケーションの相手となってもらうようにする。

④担任と ALT は、役割を分けるのではなく、協働でやるようにする。(校内研)

HRT 担任：学習モデル

ALT：英語モデル

△中学 校との交流では、小学校児童と中学校生徒の会話力と相手意識に差があり、課題が残った。

→解決策①年度はじめに CAN-DO リストの交換や指導方法の共有などの話し合いを。

② 今年度も綿密な計画・打ち合わせを行ったが、今年度の反省をいかしたい。

⑤ 外部評価

- 研究主題について：人間関係を築く上で欠かせない重要な育成になると強く感じる。
- 学習内容は、発達段階に応じ、楽しみながら学ぶことで英語を身に付けやすい内容だと感じる。
- グループワーク学習が増えていると思うが、大人が気づかない場面で見残されて感の児童・生徒がいるのではないか、と感じる。
- ネイティブな英語学習は、自然な英語の表現力に繋がると思うので、ALT を効果的に活用し、コミュニケーションを大切にしたい授業を継続してほしい。

